

# AXIS Camera Station Secure Entry

強固なセキュリティ機能を備えた  
高度なアクセスコントロール



# アクセスコントロール機能

## カード所持者とグルーピングの管理

入退管理に使用する情報（カード所持者の属性、顔写真、認証情報、およびカードの所属グループ）の管理。

## アクセスルール管理

ドアの開閉を制御するために必要な、誰が、どのように、いつ、どこにアクセスできるかというアクセス権の管理。

## ドアとゾーンの管理

ドアに加えてドアに接続されるすべての周辺機器（ドア物理ポジションセンサー、リーダー、退出要求（REX）、緊急入力など）を連動できます。また、ドアをグループ化してゾーンを作成し、実行アクションと紐づければ、アクセス管理が容易になります。

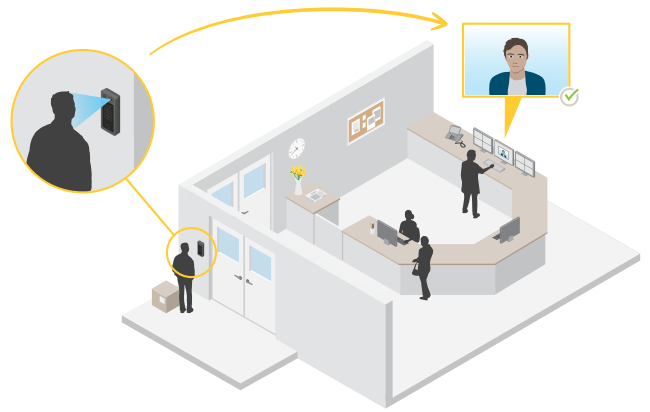
## カード所持者の映像による確認

カード所持者を映像で確認することで相互検証を行います。カード所持者の写真と入場ポイントで撮影した映像（ライブ映像、または録画映像）を比較します。



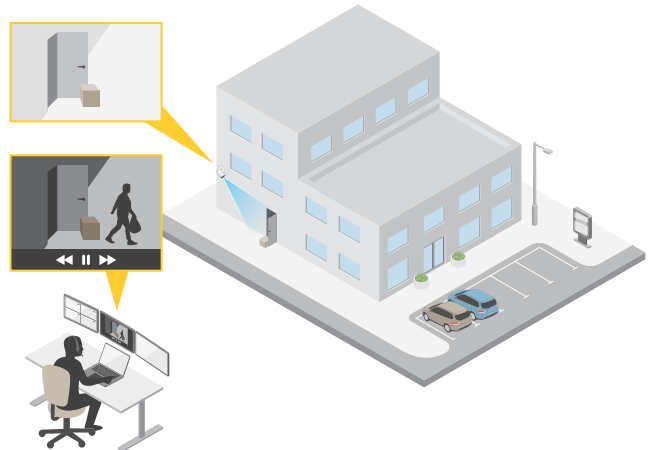
## アクセスの補助

オペレーターは、出入りを制限している場所に対して、リモートから手動によりアクセスを補助できます。カメラとドアを連動させておくことで、オペレーターは人物を特定し、本人確認を行ったうえでリモートからドアを手動で解錠できます。また、操作記録も残すことができます。



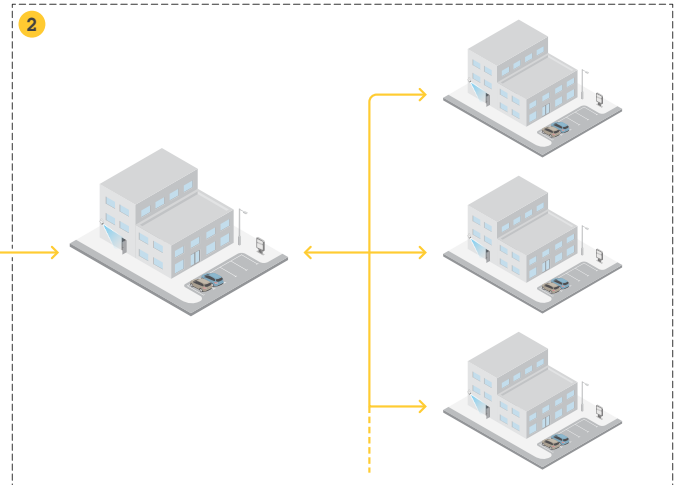
## 調査

ドアをとカメラを連動させておくことでドア周辺でおこった出来事について映像で事象を確認することができ、インシデント発生後の調査が容易になります。



## マルチサーバーと拡張性

1つのシステムで最大64台のサーバーを管理し、各サーバーで最大1,000個のドアを管理できます。集中監視、アラームレポート、ドアアクセスの補助、グローバルカード所持者管理など、すべてを1つの中央インターフェースから、すべての個別システムに提供します。ローカルエリアネットワークに限定されます。



## ワイヤレスロックの統合

ASSA ABLOY Aperio®ソリューションなどのワイヤレスロック技術と統合することで、どのような環境でも、ほぼすべてのドアにアクセスコントロール機能を簡単に追加できます。パワフルなAxisネットワークドアコントローラーは、配線を必要としない複数のバッテリー駆動式ワイヤレスロックの管理を可能にし、費用対効果に優れた使いやすいアクセスコントロールソリューションを実現します。

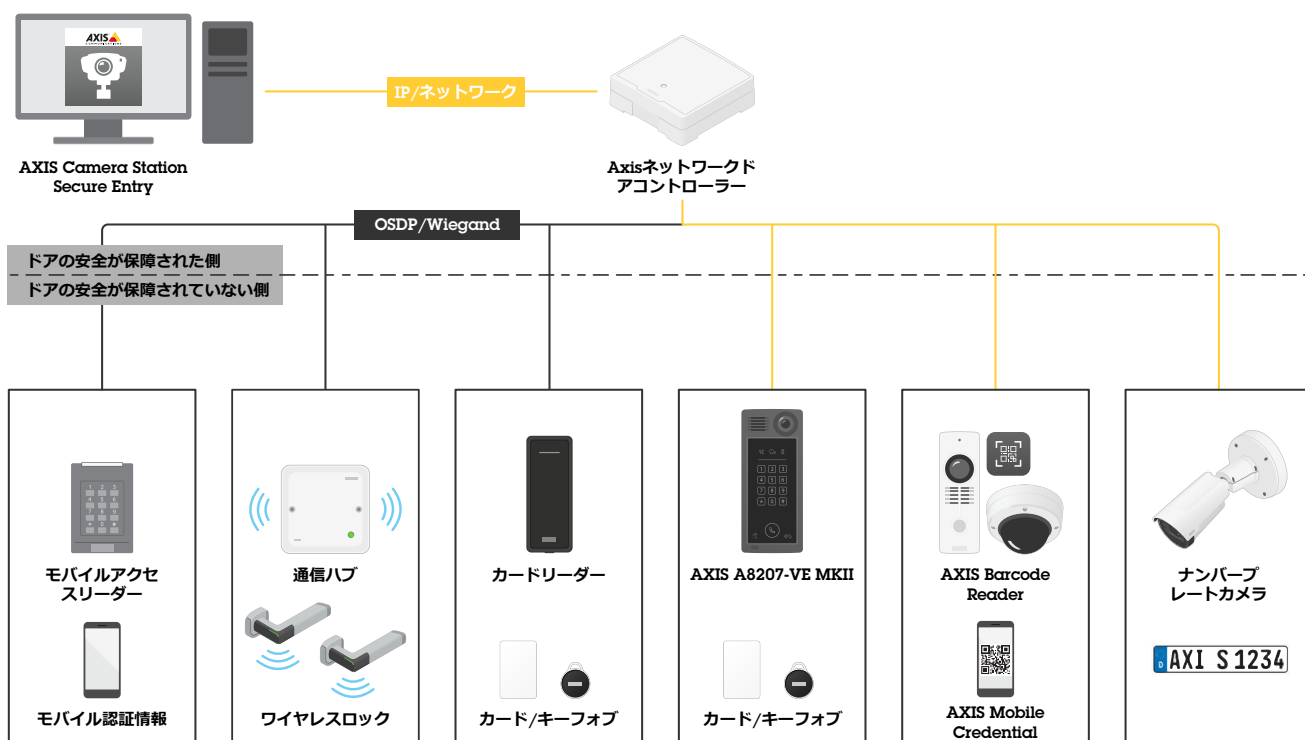


AXIS CAMERA STATION SECURE ENTRY

# 高い安全性と信頼性を誇るソリューション

## システムコンポーネント

AXIS Camera Station Secure Entryは、Axisネットワークレコーダーとともに、すぐに利用することができます。Axisネットワークアカウントローラー、Axisカードリーダー、Axis認証情報、リーダー内蔵のAxisインターコムおよび2Nインターコム、さらには幅広いサードパーティ製の識別ソリューションと連動するように設計されています。また、AXIS Camera Station Secure Entryは、高い安全性と信頼性を誇るソリューションで、サイバーセキュリティに重点を置いて設計されており、エンドツーエンドの暗号化通信を提供し、常にドアの安全が保証された側からデータを保護します。





# 主な利点

## 検証済みエンドツーエンドソリューション

AXIS Camera Station Secure Entryは、物理アクセスコントロールと映像監視を組み合わせた統合ソリューションです。これにより、設置が簡単になるだけでなく、検証済みで単一プラットフォームAXIS Camera Station Proでお客様のセキュリティニーズをサポートすることができます。

## シームレスに融合したユーザーインターフェース

映像監視とアクセスコントロールの両方を1つのインターフェースで管理・操作できます。2つの機能が互いにシームレスに連動するよう設計されており、アップデートや将来的な拡張にも対応します。Axisによるワンストップサポートを提供しますので安心してお使いいただけます。

## 使いやすい直感的な操作性

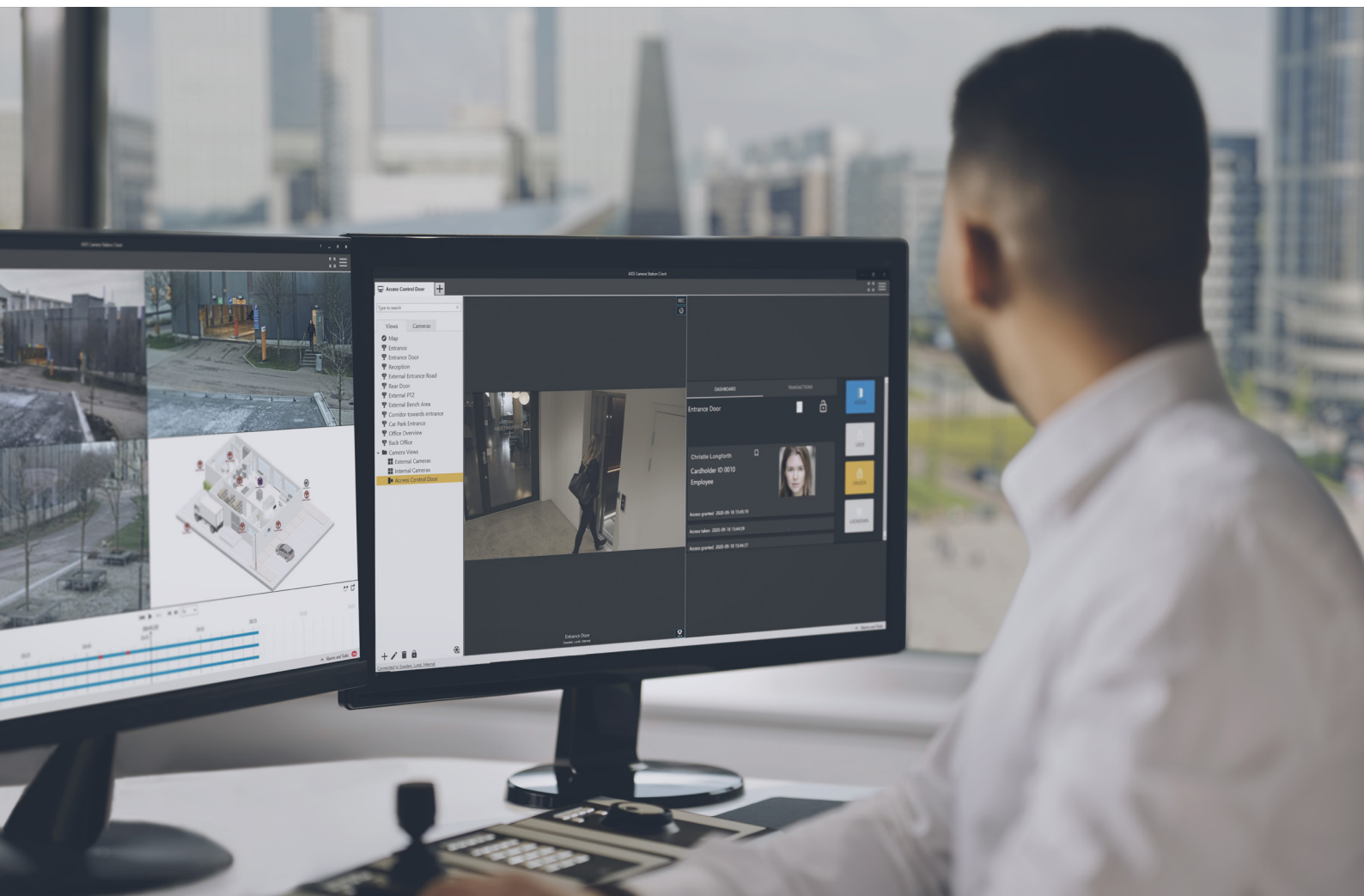
システムの導入やメンテナンスもすばやく簡単に行うことができます。直感的なユーザーインターフェース、ウィザードによるセットアップをはじめ、システム管理をアシストするさまざまな機能を備えており、これまでにない簡単に操作できるアクセスコントロール機能で、ビデオ管理ソフトウェアとも自動で連携します。

## セキュリティの強化に

アクセスコントロール機能を追加すると、「認証を受けたユーザーのみ、指定のドアや施設に一定の時間帯だけ出入りできる」、「ユーザーごとにアクセス可能なドアを設定して出入り記録を残し、管理者にセキュリティログとして提供する」といったことが行えるようになります。映像監視とアクセスコントロールを併用することで、映像証拠と入退履歴を併用した相互検証と調査が行えますので、セキュリティが強化され、安全性も高まります。

## グローバルなサポート体制

Axisのオンライン・サポート・サービスなら 世界各地のエンジニアからサポートを受けることができますので安心です。必要なときに、どこからでもアクセスできる窓口をご用意しています。



# 機能一覧

## 拡張性

- > 最大1000個のドアとマルチサーバーシステム内の64台のサーバーに対応\*
- > システムに10,000件のカード所有者を保存できます
- > 各カード所有者に、カード、PIN、静的および動的QRコード、ナンバープレートなどを含む5つの認証情報を割り当てられます
- > システム定義のカード形式 (最大256ビットの長さで編集可能)
- > 最大24桁のPIN
- > サーバーとの接続に問題が発生した場合もAxisネットワークドアコントローラーが最大25万件のローカルイベントランザクションとすべての入退管理設定を保持します

## システム

- > Axisネットワークレコーダーにプリインストールされており、すぐに使用することができます
- > Axisネットワークドアコントローラー (OSDP認証済み) に対応しています
- > Wiegand、OSDP (セキュアチャネル) またはAXIS A8207-VE Network Video IntercomなどのIPリーダーを使用してリーダーをドアコントローラーに接続できます
- > AXIS License Plate Verifier対応カメラをドアコントローラーに接続して車両の入退管理を行えます
- > Assa Abloy Aperioワイヤレスロックソリューションと統合されています
- > AXIS Camera Stationモバイルアプリでシステムイベントとアラームを受信し、ドアを制御できます
- > クライアントは複数のリモートAXIS Camera Stationサーバーに同時に接続できます
- > AxisのI/OリレーモジュールA9210と統合し、ドアの開/閉/長時間開放などの状態を監視することができます

## 運用

- > 映像とアクセスコントロールアラームを含むアラームの一元管理
- > アクセスコントロールのイベントログとレポート
- > ライブ映像や録画を利用してカード所有者の入退状況を詳細に検証することができます
- > グラフィカルマップで、アクセスコントロールシステムに素早くアクセスして管理できます
- > システム監査ログで、システムに対して行われた設定変更やアクションを記録します
- > カスタムアクションルールを設定して特定の顧客要件に対応できます
- > ドアコマンド (アクセス、ロック解除、ロック、ロックダウン (封鎖)) を使用してリモートから入場を補助できます

## アクセスコントロール基本機能

- > カード所有者、カード所有者グループ、アクセスルールの容易な設定
- > CSVファイルの使用またはActive Directoryへの接続によるカード所有者情報のインポート
- > 容易な操作によるドアとゾーンの管理
- > 録画機能とアクセスコントロール機能に対する同一のスケジュール設定
- > 既存のドア設定をコピーして、ドア設定の新規追加を効率的に行えます
- > 特定の時間スケジュールでドアのロックを解除するよう設定できます
- > いたづらを検知できるよう、REX、ドアモニター、リーダーに状態監視入力を設定できます
- > カード、QRコード、PINなどの多要素認証を使用してアクセスを許可できます

## 高度なアクセスコントロール

- > 個人のアクセス時間やドア開放許容時間を延長し、入場時間を延ばすことができます
- > ドアが開いていることが検知されたとき、一定の時間が経過したとき、またはドアが閉じたときにドアを再ロックするよう設定できます
- > カードリーダーごとに使用するカード形式を個別に設定できるため、さまざまなカードリーダーとの互換性を確保できます
- > 施設にスタッフがいない状態で意図せずドアのロックが解除されないよう、アクセスが許可されている人のみロックが解除されるようにファーストパーソンインロック解除スケジュールを設定できます
- > Axisネットワークドアコントローラーの緊急入力により、ドアを強制的にロック/ロック解除することができます
- > 管理者は、モバイルクライアントから個々のドアまたはゾーンでシステム全体にわたるロックダウン (封鎖) を実行することができます
- > カード所有者が不審者にPIN入力を強要された際、脅迫PINを入力することで、不審者に知られずに通報を行える脅迫PINを設定できます。脅迫PIN入力があった際は、ドアへのアクセスは許可しつつシステムへアラームを通知できます
- > ゾーンベースのアンチパスバックにより、退出後の再入場を防止し、認証情報が不正アクセスのために共有されないようにできます
- > 2パーソンルールでは、アクセスする際に2枚のカードをスワイプする必要があり、セキュリティがさらに強化されます
- > ダブルスワイプでは、カードを2回スワイプすることでロック状態を切り替えることができ、手動で簡単にドアを制御できます
- > 点呼および集合レポートにより、出席状況の追跡や、避難時の所在確認を行えます

\*ハードウェアの推奨事項に応じます。

詳しくは、以下のサイトをご覧ください。

[www.axis.com/ja-jp/products/axis-camera-station-secure-entry](http://www.axis.com/ja-jp/products/axis-camera-station-secure-entry)